

令和6年度 小平市立小平第六中学校 学校評価計画表									
学校教育目標		教育基本法、学校教育法及び教育諸法令に基づき、全校生徒の人格の向上を目指し、次の目標を掲げ、その達成のため努力する。 ○ 敬愛 ○ 勤勉 ○ 創造							
目指す学校像(ビジョン) 【目指す学校像】 ■(生徒)主体的に活動し、将来に向けて挑戦できる魅力ある学校 ■(保護者)安心と信頼があり子供を通わせたい学校 ■(地域)地域や保護者、学校が協働した、地域とともに歩む学校 【目指す児童・生徒像】 ■思いやりのある生徒(敬愛) ■自分の責任を果たすことのできる生徒、進んで学習に取り組む生徒(勤勉) ■自己の個性を伸ばし、豊かに表現できる生徒(創造) 【目指す教員像】 ■生徒を心から慈しみ理解する ■日々研鑽に努めるとともに協働して磨き合う ■地域を愛し保護者や地域の信頼に応える ■職責の重さを自覚し、コンプライアンスに基づき職務を行う									
前年度までの学校経営上の成果と課題 【成果】■落ち着いた学校生活による、より良い学習への取組状況 ■学校経営方針の継続と取組。スクラップビルドによる新たな取組の検討。 【課題】■新六中スタンダードによる対話的授業づくりの工夫改善、家庭学習の定着 ■特別活動の充実させ、居場所づくり絆づくりを推進 ■不登校対策、不登校支援									
	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	取組指標			成果指標		
学力向上	■生きる力(学習を考える力)の育成 ○主体的・対話的な授業づくりへの工夫改善を行う(ICT機器の活用等を図り、協働的な学びにつながるようにする)。 ○学習支援ソフトを用い、授業と家庭学習の一体化を目指す。授業内容の定着と家庭学習の習慣化を図る。	・進路学習部による話し合い活動の充実に向けた校内研修を企画する。学んだ内容を授業で生かせるように活動実践例を確認する。公開授業などで実践させ、成果を教員が共有し取組を推進する。 ・学習支援ソフトを用いて、宿題を配信し、実施率と正答率を確認する。単元問題から定期考査に出題するなどして確認できるようにし、生徒の意識や行動を向上させ、家庭学習の取組を推進する。	・新六中スタンダード(授業づくり)授業状況自己チェック表で、自らの授業を振り返る。授業観察による新たな気づきと実践に取り組む。特にタブレット端末を話し合い活動に有効に利活用する。 ・新六中スタンダード(授業づくり)授業状況自己チェック表で、学習支援ソフトの利用を振り返る。生徒への声かけや宿題の配信、こだろくノートの利用を通して家庭学習の取組を促す。	4	＜授業状況自己チェック表＞	90%	4	＜生徒授業評価アンケート達成率＞	90%
				3	①個人で考え話し合い、発表し振り返る活動 レベル3以上	80%	3	(よくあてはまる＋まああてはまる)①～③達成率の平均	80%
				2	②ICT(タブレット)の利用 レベル3以上	60%	2	①板書や配付プリント提示する資料は見やすい	60%
				1	①と②の平均	50%未満	1	②説明ははっきりしていて分かりやすい	50%未満
				4	＜授業状況自己チェック表＞	90%	4	③授業が分かりやすくなるような工夫をしている	50%未満
健全育成(いじめ防止)	■生きる力(人を・自分を考える力)の育成 ○生徒の居場所づくり絆づくりを推進し、自発性、主体性を育む。 ○自他を尊重し、思いやりのある生徒の育成を図る。いじめやいじりを「しない」「ゆるさない」心を育む。不登校支援の推進。	・特別活動を充実させ、話し合い活動を活性化する。役割を果たし集団から認められる経験を通して自己有用感を育む。協力し課題を解決していく経験を通して所属意識を高め自発性や主体性を育む。 ・話し合い活動のルールを明確にし、少数意見も大切に作る合意形成を行うことを通して自他を尊重する心を育む。いじめや不登校への未然防止、早期発見、早期対応の取組を組織的に行う。	・自他の意見を尊重し、折り合いをつけ合意形成を図る経験を積み上げる。学校行事等で、生徒自らが役割を果たし、集団の中で認められる経験ができるように働きかけを工夫する。 ・いじめ調査やいじめ防止に向けた教員研修を実施し、いじめの実態把握と組織的対応を適切に行う。生徒が主体となるいじめ防止の取組を実施する。道徳教育により道徳的心情を育む。	4	＜校内アンケート＞ 「あてはまる＋ややあてはまる」(%)	90%	4	＜保護者・地域アンケート達成率＞	60%以上
				3	「学級活動(話し合い活動)や行事、生徒会・委員会活動を通して、生徒の主体的に社会形成へ参画できる能力や態度を育成することができた。」	80%	3	(よくできている＋だいたいできている)(%)	50%
				2		60%	2	「学校は生徒同士協力して、よりよく生活しようとする働きかけを行っている。」	40%
				1		50%未満	1		30%未満
				4	＜校内アンケート＞ 「あてはまる＋ややあてはまる」(%)	90%	4	＜保護者・地域アンケート達成率＞	70%以上
学校経営	■地域とともに歩む学校を目指す ～コミュニティスクール活動の推進～ ○生徒の成長を支える教育活動を地域や保護者から提案してもらい、関わる機会を共有し、ウィン・ウィンの関係を構築して、地域の教育力を持続的に高める。	・学校経営協議会を月1回実施し、学校の課題とその解決に向けての熟議を重ね、具体的取組を提案できるようにする。過去のプロジェクト(学力向上、健全育成、キャリア教育)を実態に合わせ検討。 ・学校の教育活動を積極的に情報発信し、地域住民や保護者に六中教育活動への理解を促進する。 ・小中で統一した取組により、中1ギャップの解消と家庭の教育力向上を図る。	・コミュニティ・スクール推進委員会等で六中地区の小中で連携した活動を考える。部活動とCS主催ボランティア活動の在り方を検討し、地域の活動に、より多くの生徒が参加できるようにする。 ・日々の教育活動をHPや学校メール、学校・学年・クラスだよりにより発信する。(近隣、小学校へ掲示など) ・六中学区連絡協議会を編成。 ・学校公開の実施。	4	＜校内アンケート＞ 「あてはまる＋ややあてはまる」(%)	90%	4	＜保護者・地域アンケート達成率＞	70%以上
				3	「CSとの連携を図り、放課後学習教室やボランティア活動等の実施を通して、地域と協働する取組を推進した。」	80%	3	(よくできている＋だいたいできている)(%)	60%
				2		60%	2	「学校はコミュニティ・スクールとして、生徒を育ていくために学校と保護者・地域と連携している。」	50%
				1		50%未満	1		40%未満
				4	①HPにて学校の教育活動を公開した月ごとの平均件数。30回(100%)15回(50%)	90%	4	＜保護者・地域アンケート達成率＞	70%以上
キャリア教育	■人を考える・自分を考える力の育成 ○人としての生き方を考えさせ、将来の自分の夢や進路に向け主体的に取り組むことのできる生徒を育成する。 ○自分の住んでいる地域を知り、地域を愛する心の育成を図る。	・コミュニティ・スクールの特性を生かし、進路関係の取り組みにおいて地域の力を活用する(職業講話、ようこそ先輩、マナー講座、福祉体験)。 ・地域の方々との交流(CSプロジェクトの各活動、地域の活動など)を通し、地域の理解を図るとともに自己有用感を高め、自分が地域の一員であることを感じさせる。	自己の将来を描くことのできるよう、生きる力を高める取組を実施する。(生き方講演会、職場体験、職業調べ、上級学校訪問、道徳、体験授業など) ボランティア活動や地域行事(地域清掃活動、青少対の活動体験など)への参加を促進する。CSとの連携を図り、ボランティアとして生徒が参加しやすい枠組みを検討し実現していく。	4	①HPにて学校の教育活動を公開した月ごとの平均件数。30回(100%)15回(50%)	90%	4	＜保護者・地域アンケート達成率＞	70%以上
				3	②学校公開を実施した回数。10回(100%)5回(50%)	80%	3	(よくできている＋だいたいできている)(%)	60%
				2	①②の達成率の平均。	60%	2	「学校は、HPや学校メール・お便り等で情報公開を積極的に行っている。」	50%
				1		50%未満	1		40%未満
				4	＜校内アンケート＞ 「あてはまる＋ややあてはまる」(%)	90%	4	＜保護者・地域アンケート達成率＞	70%以上
防災教育	■安心安全な教育環境整備 ○生徒に災害発生時に自他を守る知識・技能の習得を図るとともに、安全な学校生活と教育環境の整備を推進する。	・毎月、全教職員で校内を点検し、小平市教育委員会施設担当と連携を密に図ることで補修必要箇所の修繕を行う。 ・「自助」「共助」「公助」の観点から生徒の防災に関する知識・技能を高める。	・避難訓練の適切な実施。 ・災害に対する意識を高めるため、防災教育を道徳、総合的な学習の時間を活用し適宜実施する。	4	①安全・防災に関する指導の実施回数(毎月1回を予定、8月を除く)。	15以上	4	＜保護者・地域アンケート達成率＞	70%以上
				3	②避難訓練時の避難完了時間(分)。5分未満→4、6分未満→3、7分未満→2、7分以上→1とし、その平均数。 ①と②の合計。	13以上	3	(よくできている＋だいたいできている)(%)	60%
				2	○年間コミュニティ・スクールプロジェクトのキャリア教育、健全育成などに関する取組(地域交流関係)と地域行事及びボランティアへの参加実施回数(回)	11以上	2	「学校は、避難訓練や防災教育を通して、緊急時の意識を高め、対応に備えようとしている。」	50%
				1		10以下	1		40%未満
				4	○校内研修、企画委員会等で管理職からの教職員の超過勤務時間削減に関する啓発・指導の回数並びに勤務関係研修など実施の合計。	6回	4	週あたり在校時間80時間以内の達成率(%)	70%以上
働き方改革	■勤務時間管理と健康管理を意識した働き方の推進 ●育児休業 ●勤務遵守	・勤務遵守の徹底と業務改善について教職員の意識を向上させる。 ・育児休業の意義について周知する。	・長時間勤務者への面接指導実施。 ・育児休業や年次休暇を取得しやすい雰囲気と体制づくりを行う。 ・自分事として捉える勤務防止研修の実施し、チェックシートで確認する。	3		9回	3		60%
				2		6回	2		50%
				1		3回	1		40%未満
				4					